自治会いきいき No.129

新柳町第二自治会　134世帯

大高　則夫さん（67歳）

町内６ヶ所に設置しています

「除排雪デーを定めています」

自治会は景林町や松美町、萩の台、末広町までまたがっています。行事のほとんどは第一自治会との合同で、１月の餅つき大会や丁山運行、子ども七夕、バスでの町内レクリエーションなどを行っています。

課題は道路脇に寄せられた雪が車道に戻され、通行に支障をきたすことです。このため、平成14年から除排雪デーを定め、予算やスタッフ・車両配置も計画しています。これまでは、１月末の積雪量が少なく行われずじまいでしたが、高齢の一人暮らしも多くなり来年は必ず実施したいと思います。

また、大型車両の通行や猛スピードで通り過ぎる車が多く、信号機の設置や新型ハンプの取り付けを要望しようと話し合っています。

朝晩、電線に５百羽以上もカラスが留まり、ひどいふん害ですが、省スペースの折りたたみ式ステーションを導入し、ごみの散乱を防いでいます。

ハンプ：車のスピードを落とすための道路上の緩やかなこぶ

まちかど ウォッチング

地域の冬祭り　向ケ丘いきいきテント村

向ヶ丘自治会連合会で毎年、この時期に行っている向ヶ丘いきいきテント村。子どもから高齢者まで多くの人が参加し、地域のコミュニケーションを図り、親ぼくを深めました。

いつも元気

バスケットボール記録会（総合体育館）

のーろ逍遥　歴史と民俗のあいだ 64

馬の絵(三)　「砂子田・八幡神社(一)」

砂子田の八幡神社にあるもので、前回の絵馬とそっくりです。こちらは明治三十年の奉納で若干早いようです。年代的に近いこと、図柄が同じであることから、同じ絵師が描いたものでしょう。こちらは彩色であること、額縁の細工が丁寧であることなどからすると、より力が入っていたかもしれません。奉納者は岩尾堅司とあります。岩尾氏は江戸時代には大性院と称した修験者で、常盤村一帯の神社の神主を務めていました。その岩尾氏が奉納していますから、この神社への思い入れも相当強いものがあったのでしょう。常盤村は神道の影響が強い地域ですから、岩尾氏の存在は大きかったのかもしれません。この絵馬の御者は立烏帽子をかぶり、狩衣に小袴をはいていますから、神官の姿に見えます。あるいは自分の姿を写したのでしょうか。馬には飾り気のある轡をはめ、立て髪を結い分け、背中に白布をかぶせて、その上に紙垂を掛けている奉納馬の姿です。

額縁は周囲を雲形に刻み込み、画面よりややせり出すようにつけています。画面が奥まって見え、それがこの絵馬の気品を表しているようです。額の全体に神に祈る敬虔な気持ちが満ちているようです。（古内）

●毎月第2・4木曜日発行　●編集と発行　能代市市民まちづくり支援課　〒016-8501　秋田県能代市上町1-3　TEL0185-89-2147　●印刷　㈱大潟印刷